

## サウンドテーブルテニス川崎大会を協賛しました

令和6年1月20日

神奈川福祉事業協会では、令和6年1月20日・21日川崎市幸スポーツセンターにおいて行われた第37回日本視覚障害者団体連合関東ブロック協議会サウンドテーブルテニス川崎大会を協賛しました。

サウンドテーブルテニス（S T T）は、球の中に入っている金属の音を頼りにプレーする視覚障害者が行う卓球で、視覚障害者に親しまれている数少ないスポーツです。

初日に行われた開会式には当協会小林昇理事（神奈川県遊技場協同組合副理事長・川崎市遊技場組合組合長）が出席しました。



緊張感が漂う開会式の中、主催者である特定非営利活動法人川崎市視覚障害者福祉協会 関山進会長より立派な感謝状をいただきました。



同大会には、日本視覚障害者団体連合関東ブロック協議会加盟団体(1都7県)から代表選手 63 名が出場し、熱戦が繰り広げられました。

この大会を通じて S T T というスポーツが、より広く社会に知られるとともに、多くの視覚障害者に楽しんでいただけることをお祈りいたします。

私たちは、これからも社会貢献活動を推進してまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。